平成5年12月25日第5種郵便物認可

2000年1月1日

第5号 年刊

月刊クリスマス

発行所 日本クリスマス協会
発行人 のびのぶ編集長
発行所 のびのぶ工房

日本クリスマス協会 栗須増子会長の挨拶

みなさま、ハッピー・ニューイヤーです。ナイスなミレニアムをお迎えでしょうか。

昨年は年刊『月刊クリスマス』が12月25日の発行日に間に合わなかったことを深くお詫び申し上げます。「やっぱり廃刊?」などと思われた方はもちろんいらっしゃらなかったと思いますが、不覚にもお正月の発行になってしまいました(それさえも間に合うか、12月30日の本日の時点では不明です…)。

ザ・ノブマンディ作戦

発行日が遅れたのは、ワタクシが「清く正しいクリスマス研究」のために、ドイツに行っていたのが原因でございます。さかのぼれば、あれは『月刊クリスマス第4号』をお送りした後、某支局長より、「日本クリスマス協会なのに、アカデミックな研究が少ない」とのクレームを受けました。素直な会長は深く反省をし、12月という出版界では一番大変な年末進行というスケジュールを無視して、ドイツ上陸「ノブマンディ作戦」を展開したのでした(と言っても、全日空が快適な空の旅、12時間で運んでくれたんですけれど)。

日独友好の発展に尽くす

なんとか無事に、「クリスマスの大御所・ドイツに『日本クリスマス協会のノボリ』を立てに行く旅」ご一行様(本当は1人ぼっち)は現地に到着。日本のお祭りの露店のような「クリスマス・マーケット」を本場のホット・ドックをもぐもぐしながら、いくつか見学。

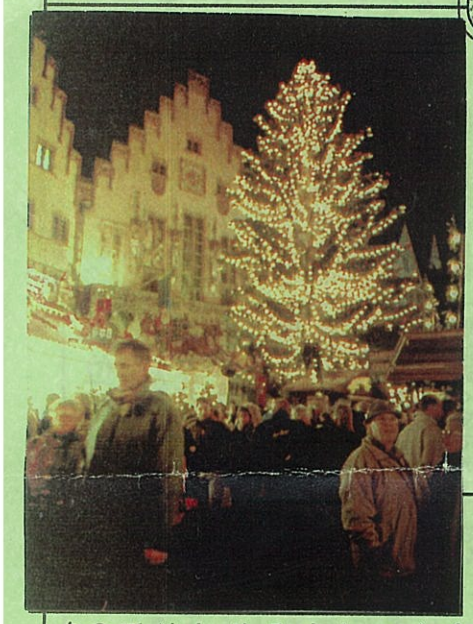
そして、「会長がシアトルで出会ったスーちゃんが去年、放浪していたグアテマラで知り合いになったドイツ人のアンジェリカ」というまさに赤の他人のおうちにずうずうしくも泊まり込んだのでした。当日、インドから戻ったばかりにもかかわらず親切なアンジェリカは伝統的なクリスマスの準備をしているお友達のおうちに会長を連れまわってくれました。

ノボリ立てには涙の失敗

クリスマスクッキーに始まり、リース、アドベント・クランツなど、「おせち、しめ飾りがないと新年は明けない!」というような伝統的なクリスマスの準備がたくさんあり、ドイツで本気でクリスマスを迎えようと思うと、とても大変なことを会長は知るのでした。

いずれにしてもドイツは広くて、一体「ノボリ」はどこに立てればいいか分からず、研究資料や研究材料(クッキーなど)だけ買いこんで帰国の途につきました(下段に関連記事)。来年はフィンランドでサンタ研究を行いたく、只今文部省に研究助成金を申請中です。

というわけで、日本クリスマス協会は清く正しく楽しいクリスマス研究と普及のために、寝る間も惜しんで活動を行っています。「欠員待ち」になる前にあなたも日本クリスマス協会に入りましょう。壷の販売などは行っておりませんので、ご心配は不要です。



(写真はフランクフルトのクリスマスマーケット)

のびのぶニュースこれあれ

鮮烈にデビュー 犬写真家、のら犬写真集

前回の月刊クリスマスで「のら犬写真家」になる決意を表明したのびのぶ編集長ですが、おかげさまで「本の表紙デビュー」を飾ることができました。昨年5月に発行されたDr米山の『ワン・ワールド』(廣済堂出版)という単行本で、のびのぶ編集長ののら犬写真たちが表紙と中にたくさん使われています。

この『ワン・ワールド』は不思議でかわいい犬のお話が9話入った本。この本の宣伝のために、のら犬写真たちは「ADカード」(カフェなどに置いてあり、お客さんが無料で持って帰れる)というポストカードにもなりました(ご希望の方には先着20名お送りします)。

来年は『月刊ドック・ワールド』(成美堂出版)という愛犬雑誌でDr米山がスタートする「犬のショートストーリー」の写真も毎月撮ることになったので、やっぱり2000年ものら犬探しです。国内、国外問わず、かわいいのら犬、老犬を見つけた方はのびのぶ編集長までご一報ください。

ワン・ワールド
輝く犬が降る夜に…
米山公啓
New Year
New Year
New Year